

地方独立行政法人広島市立病院機構の概要

1. 概要

安芸市民病院を除く市立病院は、病院を取り巻く環境変化に迅速・柔軟に対応し、これまで以上に質の高い安全で安心な医療を安定的に提供するため、平成 26 年 4 月 1 日に地方独立行政法人へ移行しました。

ア 名称

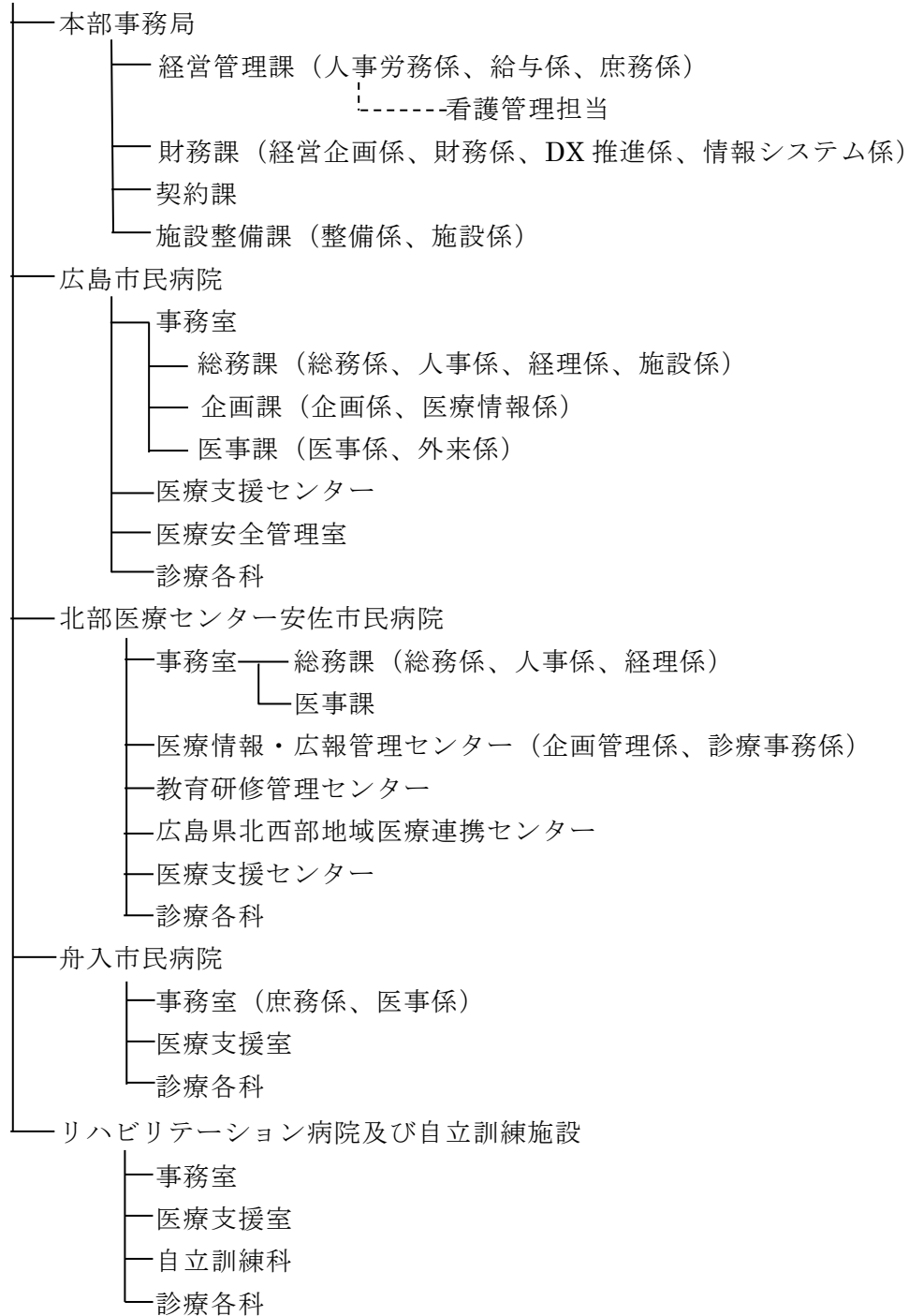
地方独立行政法人広島市立病院機構

イ 設立日

平成 26 年 4 月 1 日

ウ 組織

広島市立病院機構



2. 病院の概況

区分		広島市民病院	北部医療センター安佐市民病院
施設規模		(ア) 敷地面積 18,079 m ² (イ) 延床面積 75,812 m ² (ウ) 病床数 743 床 (一般 715 床、精神 28 床)	(ア) 敷地面積 38,351 m ² (イ) 延床面積 52,160 m ² (ウ) 病床数 434 床 (一般病床414床、精神20床)
職員数 (正規・嘱託・臨時) (令和 7 年 4 月 1 日)		2029 人 ・医師 304 人 ・医療技術職員 270 人 ・看護師 1093 人 ・事務・技術職員 235 人 ・技能・業務職員 127 人	1338 人 ・医師 184 人 ・医療技術職員 181 人 ・看護師 663 人 ・事務・技術職員 203 人 ・技能・業務職員 107 人
診療各科		39 科(内科、総合診療科・感染症科、血液内科、内視鏡内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、腎臓内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、リウマチ・膠原病科、小児科、神経小児科、循環器小児科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科・脳血管内治療科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア科、病理診断科)	33 科(内科・総合診療科、消化器内科、肝胆膵内科、内視鏡内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、腫瘍内科、がんゲノム診療科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、精神科、小児科、消化器外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科・顕微鏡脊椎椎髄センター、脳神経外科・脳血管内治療科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア内科、歯科・口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科)
患者数 (令和 7 年度)	入院	1 日平均 628.2 人 【病床利用率】 一般病床 84.3%	1 日平均 323.6 人 【病床利用率】 一般病床 85.2%
	外来	延べ 381,184 人(1 日平均 1,581.7 人)	延べ 193,123 人(1 日平均 801.3 人)
業務状況等		(ア) 救命救急センター 24 床 脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等、重篤な救急患者を対象とした三次救急医療を実施 ・心臓冠動脈疾患集中治療管理室(CCU) 7 床 ・脳血管障害疾患集中治療管理室(NCU) 9 床 ・集中治療管理室(HCU) 8 床 (イ) 救急科 救急患者の受入窓口としての機能を有し、24 時間 365 日体制で診療を実施 (ウ) ICU 特定集中治療室管理料 1 算定 10 床 ハイケアユニット入院医療管理料 1 算定 4 床 (エ) 総合周産期母子医療センター 69 床 危険度の高い妊産婦や新生児に対する高度な治療を 24 時間 365 日体制で実施 ・重症新生児集中治療管理室(NICU) 9 床 ・新生児回復期治療室(GCU) 24 床 ・母体・胎児治療後病床 36 床 (オ) 人工腎臓センター 33 床 (腎臓機能不全患者に対する血液透析を実施)	(ア) 救急医療 地域救命救急センターを設置し、24 時間 365 日 6 体制で一次救急医療から三次救急医療を提供。ドクターヘリ対応のヘリポートを設置し、県北西部地域や遠くは島根県の県境付近から救急患者を受け入れ実施 (イ) 手術後及び重篤患者を対象とした高次診療を実施 ・集中治療室(ICU) 8 床 ・救急救命病棟 19 床 (ウ) がん医療の充実 地域がん診療連携拠点病院として、消化器内視鏡手術、手術や化学療法、放射線治療、分子標的薬治療、免疫療法を適切に組み合わせた低侵襲的、集学的治療を実施。通院治療センターを設置し、質の高いがん医療を提供 (エ) へき地医療の支援 県北西部地域などの医療提供体制に沿った医療スタッフの派遣を実施

区分		舟入市民病院	リハビリテーション病院
施設規模		(ア) 敷地面積 9,249㎡ (イ) 延床面積 14,779㎡ (ウ) 病床数 156床 (一般140床、感染症16床)	(ア) 敷地面積 39,407㎡ (イ) 延床面積 10,113㎡ ※広島市身体障害者更生相談所部分を除く (ウ) 病床数 100床(一般病床)
職員数 (正規・嘱託・臨時) (令和7年 4月1日)		306人 ・医師 32人 ・医療技術職員 51人 ・看護師 165人 ・事務職員 49人 ・技能・業務職員 9人	248人 ・医師 8人 ・医療技術職員 100人 ・看護師 71人 ・事務・技術職員 46人 ・技能・業務職員 23人
診療各科		23科(内科、総合診療科、血液内科、内視鏡内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、小児外科、皮膚科、肛門外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、原爆被爆者健康管理科、感染症科、救急科)	12科(脳神経外科、脳神経内科、リハビリテーション科、歯科、整形外科、循環器内科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科)
患者数 (令和7年度)	入院	1日平均 87.4人 【病床利用率】 一般病床 65.3%	1日平均 92.7人 【病床利用率】 一般病床 94.0%
	外来	延べ 61,525人 (1日平均 218.3人)	延べ 9,317人 (1日平均 38.7人)
業務状況等		(ア) 救急医療 広島市・安佐・安芸地区医師会、広島大学等の協力を得て実施 ・小児科 24時間365日診療 ・耳鼻咽喉科 土曜日の夜間 ・内科及び眼科 年末年始 (イ) 小児専門医療 小児心療科、小児外科及び小児皮膚科の小児専門医療を実施 (ウ) 感染症治療 第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス等の感染症患者の治療を実施	ア)リハビリテーション 高度で専門的な回復期のリハビリテーションを必要とする患者を対象に、医学的リハビリテーションを実施 (イ)自立訓練施設 社会的リハビリテーションを中心に生活力の向上と早期の社会復帰を支援。 ・自立訓練(機能訓練) 40人 自立訓練(生活訓練) 20人 (うち施設入所支援 40人) ※うち視覚障害対応訓練適応者数(概ね10人まで)の受入れを含む。 ・短期入所支援 若干名

広島市立病院機構では、 こんな看護師を求めています！

○ 先進医療の中で「安全」と「安心」を提供できる看護師

医療は日々進化しています。先進医療の中で、「安全」と「安心」を提供するためには常に専門的な知識と技術を向上させていくことが必要です。「自ら学ぶ姿勢」と「人に寄り添う」看護の心を大切にできる人を求めます。

○ 市民の「尊厳」を守り、「信頼」される看護師

「人としての尊厳」は最も大切なことです。看護師は、「人の命を守る」「人生の選択を支える」重要な役割を持っています。その役割を果たすために、高い倫理観を持って責任ある行動を取ることができる人を求めます。

○ 機構職員としての「誇り」を持てる看護師

自分のキャリアを活かすために、大いなるチャレンジ精神を持って行動できる人を求めます。そのため機構四病院では、様々な研修を受けることができます。情熱と誇りを持って、組織に貢献できる人を望みます。

○ 地域と共に「活躍」できる看護師

地域連携はますます重要となります。幅広い視野を持ち、制度を活かし、「地域住民を支える」ことが求められます。また、様々な職能活動にも参画し、情報を発信できる力を求めます。

広島市立病院機構では、

皆さん一人ひとりが「なりたい看護師」を目指せるように、

各種研修や制度を充実させ、働きやすい職場作りに努めています。

